

M3T-MR32R/4 V.4.00 Release 00 ご使用上のお願い

M32Rファミリ用リアルタイムOS M3T-MR32R/4 V.4.00 Release 00 の使用上の 注意事項を連絡します。

- acre_tskおよびcre_tskによってTA_ACT属性のタスクを生成した場合の注意事項

1. 内容

acre_tskおよびcre_tskサービスコールによって起動されたタスクの拡張情報が 正しく渡されない場合があります。

2. 発生条件

以下2点の条件を同時に満たす場合に必ず発生します。

- (1) acre_tsk または cre_tsk サービスコールを使用している。
- (2) 上記サービスコールにより生成されるタスクにTA_ACT属性が付加されている。

例 :

```
-----  
void task1(VP_INT stacd )  
{  
    T_CTSK  ctsk;  
  
    pk_ctsk->tskatr = TA_HLNG | __MR_EXT | TA_ACT ; /* 発生条件(2) */  
    pk_ctsk->exinf = 0x12345678;  
    pk_ctsk->task = task2;  
    pk_ctsk->itskpri = 5;  
    pk_ctsk->stksz = 512;  
    pk_ctsk->stk = NULL;  
  
    ercd = cre_tsk( ID_task2, pk_ctsk ); /* 発生条件(1) */  
    :
```

```

}

void task2(VP_INT stacd)
{
/* タスクに拡張情報が渡されません */
/* つまりNGが出力されます */
if( stacd == 0x12345678 )
    printf("OK¥n");
else
    printf("NG¥n");
}
-----

```

3. 回避策

次の手順で回避してください。

- (1) acre_tsk および cre_tsk サービスコールの対象タスクのTA_ACT属性を削除する。
- (2) 上記サービスコールで生成されたタスクをact_tsk サービスコールで起動する。

例

```

-----
void task1(VP_INT stacd )
{
    T_CTSK ctsk;

/* (1) TA_ACT属性を付加しない */

    pk_ctsk->tskatr = TA_HLNG | __MR_EXT;
    pk_ctsk->exinf = 0x12345678;
    pk_ctsk->task = task2;
    pk_ctsk->itskpri = 5;
    pk_ctsk->stksz = 512;
    pk_ctsk->stk = NULL;

    ercd = cre_tsk( ID_task2, pk_ctsk );
/* (2) act_tskによって対象タスクを起動する */
    if( ercd == E_OK ){
        act_tsk( ID_task2);
    }

    :
}

```

```
void task2(VP_INT stacd)
{
/* タスクに拡張情報が渡されます */
/* つまりOKが出力されます。 */
if( stacd == 0x12345678 ){
    printf("OK¥n");
else
    printf("NG¥n");
}
}
-----
```

4. 恒久対策

次期バージョンで改修する予定です。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。